

# 2020年度 災害時外国人支援サポーター養成講座（オンライン）

## 受講者募集要項



財団 HP QRコード

### 1 目的

激甚災害が全国的に頻発していますが、沖縄も例外ではありません。もし県内で大規模な災害が発生した場合に、我々はどう乗り切るのか。空港や港が使えない、容易に他県からの応援が得られないとすると、どういことが起こるのか。一方、在住外国人や外国人観光客数は増加の一途を辿っており、地域防災力を高めることにより、万一の場合に外国人の方々がことばや文化の違いのみをもって避難所等で孤立することのない支援体制を確立することは喫緊の課題であります。

本講座は、参加者の「防災・減災」に対する意識を高め、島嶼県沖縄の地域防災力の向上を目指すとともに、災害時に外国人に寄り添うことができる人材を育成することを目的に実施します。

### 2 実施方法

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従来型の対面式講座ではなく、Web 会議システム（Zoom）を活用してオンラインセミナーとして実施します。

### 3 対象者

次の要件を満たす方全員を受講対象者とします\*。なお語学力に自身がない方でも、要件を満たしていれば受講することが可能です。\*参加は応募先着順とし、定員に達し次第、募集を締切ります。

(1) 全講座の受講参加が可能な方

(2) 別紙「オンラインセミナーを受講する環境について」を確認し自身で受講環境を整えることができる方

その他 HP に掲載している「Zoom を活用した講座の受け方」を参照し使い方を予習することが望ましいです。

### 4 開講日時・内容

回	日時	内容
第1回	6月6日（土） 9:00～12:40	<b>【講義・演習】災害時外国人支援の課題-多文化共生社会の実現に向けて-</b> 県内に来県する外国人観光客や在住外国人が、大規模災害時に直面するであろう問題や災害時の各フェイズごとの支援のポイントを確認する。また「ストック情報」や「フロー情報」に関する理解を深め、「災害時外国人支援サポーター」としてどのような役割を担うことができるのか、基礎を学ぶ。 <b>【導入】災害時の外国人のニーズと財団の役割</b> 本事業の趣旨や大規模災害時における財団の役割について概説する。また災害時に外国人からどのようなニーズがあるのか、その中でサポーターとしてできる支援について考える。
第2回	6月7日（日） 9:00～12:40	<b>【講義・演習】災害時におけるこころのケア</b> <b>-サポーターとしての心構え（DPAT 医療の現場から）-</b> 災害時はサポーターも被災者となる困難な状況の中で活動を行う可能性を伴う。そのような状況の中で、サポーター自身のこころのセルフケアをどのように行うことができるかについて、東日本大震災の事例を通して考える。また、サイコロジカルファーストエイド（PFA）の概念を学び、被災者への寄り添い方など心理的な応急処置の方法を演習として実践する。
第3回	6月13日（土） 9:00～12:40	<b>【講義・演習】災害時多言語支援の展望と課題について-熊本地震の事例から-</b> 熊本地震の事例を通して、外国人支援の拠点である「災害時多言語支援センター」の意義や、運営上の課題、展望について考える。また、実際に運営経験を持つ講師との質疑応答を通して、参加者一人ひとりが災害時にどのように関わり、どのような役割を担うことができるのか具体的に考察する。 <b>【演習】外国人被災者支援のための「オンライン避難者登録フォーム」活用セミナー</b> 外国人観光客の帰国や健康状態、在住外国人のことばの壁等、大規模災害時に困難な状況に直面する外国人を支援するため、また避難所を巡回する職員や災害時外国人支援サポーターの円滑な情報収集を図るべく、「多言語オンライン避難者登録フォーム」の活用方法を学ぶ。

第4回	6月14日(日) 9:00~12:40	<b>【講義・基礎演習】災害時に役立つ「やさしい日本語」</b> 東日本大震災や鬼怒川水害、熊本地震等でも注目された「やさしい日本語」とは何か、我々が普段使っている日本語のどういう点が外国人にとって難しいのか、実際にアナウンス案分をみながら、その基礎を学ぶ。また、実際に災害時に使われる表現を「やさしい日本語」を用いて作成し、振り返りを通して、外国人に「よりやさしく」伝わる日本語について検討する。
第5回	6月20日(土) 9:00~12:40	<b>【演習】避難所運営ゲーム(HUG 図上訓練)</b> 今回は従来の避難所運営ゲームとは異なり、これまでの講義で学んできたことを応用し、他の参加者と協力しながら、大規模災害時に発生が想定される様々なイベントへの対処方法をグループでじっくり検討する。訓練後、それぞれのグループの結果を比較し、避難所運営に必要な知識や被災者への対応を振り返る。

\*気象災害等により、「特別警報」や「暴風警報」等が発令された場合、講座を中止します。

\*講師の都合により、講座の内容を変更する場合があります。

## 5 「災害時外国人支援サポーター」の認定

全5回を受講された参加者は、当財団の「災害時外国人支援サポーター」に認定し、修了証と登録証(I.D.カード)を交付します。(2020年2月末現在166名の方が修了登録しています)

## 6 受講料 無料

## 7 募集定員 40名

## 8 募集期間 2020年4月30日(木) ~ 5月28日(木)

- (1) 申込みは財団 HP (<https://kokusai.oihf.or.jp>)または QR コードから行うことができます。
- (2) **参加は応募先着順とし、定員に達し次第、募集を締切ります。** 予めご了承下さい。
- (3) 参加者確定の後、参加者全員に書面にて受講決定通知を送付いたします。  
(6月1日(月)以降、通知が届かない場合、下記お問い合わせ先まで必ずご連絡下さい)

## 9 個人情報の使用に関する同意のお願い

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団では、ウェブサイトやパンフレット、ポスター等の広報媒体において、事業に関する広報活動を広く行っております。事業内容を沖縄県民や関係機関にできるだけ具体的に表現するため、参加する皆さまの肖像(写真や動画など)を広報媒体に掲載させていただくことが非常に有効な手段であると考えております。皆さまの肖像につきまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 10 お問い合わせ

公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課 葛(かつら)・大見謝(おおみじゃ)

住所: 〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4丁目2番16号

電話: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220 E-mail: kokusai@oihf.or.jp